

第 76・77 合併号

令和 5 年 7 月 10 日発行

華洲会競吟成績・研修会レポート
のほか、2 年間の活動ダイジェスト



発行者

公益社団法人 関西吟詩文化協会

公認 **華洲会** (広報紙)

発行責任者
編集責任者

会 長 山口華雋
広報部長 高橋箏瑛

吟力向上講座 大盛況！

令和五年二月二十六日、池田市民文化会館アゼリアホールにて、華洲会教養指導部の主宰により「第三回吟力向上講座」が開催されました。多くの会員が集い、山口華雋先生による熱血指導が行われました。

この研修会では、毎回会員の中から吟力向上を目指される方に「モデル吟」として登場いただき、普段の吟詠と山口先生によるメンテナンスを通して吟声の変化を実感いただいています。今回は、嶋田綾子さん（雋詠京都）と上野釣恵さん（川西豊友）がモデル吟者として登場、山口先生のレクチャーにより吟力向上のスイッチが入ったようです。

なおこの講座の様子は、華洲会公式動画（YouTube）にもアップされており、視聴回数も十万回をクリアするなど、全国の詩吟愛好家の注目を集めています。また、動画登録者数も一〇〇〇人目前！是非、当日参加出来なかった方は動画をご覧頂き、吟力向上にお役立てください。



新春錬成会 開催!

3年ぶり 大東市民会館にて

令和五年一月二十九日(日)、大東市民会館で3年ぶりとなる華洲会新春錬成会が開催されました。しばらくの間中止を余儀なくされていましたが、今年こそは、と会員全員の思いが実り、よく練られた演出とともに日頃の練習成果を存分に発揮した錬成会となりました。

また、懇親会も久方ぶりに催され、山口華雋会長はじめ皆さん自



川西豊友支部他のみなさん



山口華雋会長による
ご挨拶



中村尚儒副会長
による会歌先導

慢の喉を披露し、さらにはマジックショーにダンスに明るい年明けを感じさせる集まりとなりました。



川西市詩吟連盟会歌の大合吟



青山支部のみなさん



多田東支部のみなさん①



華洲会スーパーチームの迫力ある舞台！



鳳吟大江支部のみなさん



多田東支部のみなさん②



京阪樟葉支部のみなさん



楠の里支部のみなさん



奥山先生の吟と棉生珠童先生の舞と



野崎観音支部のみなさん

一日お疲れ様でした！



雋詠寺川支部のみなさん

燐吟支部のみなさん。
まだまだ頑張ります！

華洲会第50回競吟大会開催

九月二十五日、大東市民会館にて華洲会競吟大会が開催されました。今年は第五〇回目となる記念すべき大会で、多くのご来賓の先生方のご審査の下、会員一同、日頃の稽古の成果を存分に発揮した一日となりました。当日の模様を振り返るとともに、次頁に大会結果を掲載しております（華洲会ホームページでもご覧頂けます）。



当日は二会場に分かれ、それぞれ熱吟を競っていました。



来賓吟詠では剣舞も披露され、観客一同舞台に見入りました。



嶋崎千夏ちゃんと雄仁くん。詩吟も舞も、年々レベルアップしてきています！



プログラムの最後は恒例の万歳三唱。一日お疲れ様でした！



前日準備ではマイク音量調整など入念にチェックをおこないました。

令和4年度 第50回 華洲会 競吟大会 成績

開催日 令和4年9月25日(日) 場所 大東市立市民会館(キラリエホール)

段位・種目	優 勝		準 優 勝		準々優勝	
	氏名	所属支部	氏名	所属支部	氏名	所属支部
新人の部	小澤 恒雄	京阪樟葉	奥山 八十夫	川西北	杉本 明美	多田東
初級の部(一部)	岡部 祐希	青山	入口 寛都	雋詠寺川	尾崎 ゆかり	青山
初級の部(二部)	石原 純子	雋詠京都	小松 和代	雋詠寺川	古森 政美	清和台
上級の部(一部)	加納 恵介	雋詠寺川	中村 千賀子	川西北	松下 恵子	多田東
上級の部(二部)	東野 昭	川西豊友	樋口 智裕	川西北	奥野 君子	多田東
師範代の部	福田 和美	川西大和	近野 昭司	川西豊友	東野 明	川西北
準師範の部	上野 敦	川西豊友	向井 博子	雋詠寺川	岡部 幸子	川西北
師範以上の部	吉見 允利	川西北	奥山 久美子	雋詠京都	入口 みどり	雋詠寺川
決勝の部	奥山久美子	雋詠京都	上野 敦	川西豊友	山下 智之	丸の内中央
和歌(一般)の部	樋口 智裕	川西北	奥野 君子	多田東	川井 久美子	楠の里
和歌(指導者)の部	坂根 英生	川西大和	嶋田 綾子	雋詠京都	中野 宣子	雋詠京都
奨励賞: 幼年で明るく元気に吟詠!			嶋崎 千夏	野崎観音	嶋崎 雄仁	野崎観音

入 賞 者

段位・種目	氏 名(所属支部)
初級の部(一部)	奥屋 益美(雋詠伊賀)
上級の部(一部)	箱田 久美子(川西北) 杉本 侑響子(雋詠寺川) 秋月 俊也(雋詠寺川)
上級の部(二部)	柏原 美佐子(野崎観音) 小谷 茂雄(多田東) 小澤 陽子(清和台) 岡崎 正秀(丸の内中央)
師 範 代 の 部	坂根 英生(川西大和) 中村 久美子(雋詠京都) 林 多美子(多田東) 嶋田 綾子(雋詠京都) 幸 盛正(川西大和) 河田 一彦(多田東) 小川 宗三(雋詠伊賀) 本郷 恵子(青山)
準師範の部	石崎 照子(雋詠寺川)
師範以上の部	山下 智之(丸の内中央) 坂本 敏一(男山さくら) 辻 総一郎(多田東)
和歌(指導者)の部	福田 和美(川西大和)



各部門別 優勝・準優勝・準々優勝者

各部会活動

ホームページ委員会

詩吟を広く一般の方々に知っていただくにはどうすれば良いのか？オリジナルホームページを立ち上げ、さまざまな活動を発信していかうと専門委員会を結成、試行錯誤しながら運営を続け、早くも三年が経過しました。同時に、動

画でも詩吟を知っていただくためYouTubeチャンネルも開設しました（令和三年六月六日から）。開設より二年半、おかげさまで視聴回数は総計十万回をカウントしています。またチャンネル登録者数も九五五名と、一〇〇名も目前に迫っています！また、ホームページの閲覧も三〇〇〇回ほどに達しました。これからも積極的に発信してまいります。是非、一日一度は必ずご覧ください！



青年部

ここ数年、私たち青年部が出演しているイベントに、「えほんpicnic」というものがあります。これは大阪市西区の鞆公園で毎年秋に行われていて、親子で絵本に触れることを目的に開催されています。縁あって、私たち青年部にもお呼びがかかり、二十分ほど詩吟を披露しています。今年度は十月八日（土）に開催され、嶋崎雄仁君の剣舞と千夏ちゃんの詩舞、また「立山を望む」の詩文を紙芝居で紹介し、多くのファミリーに楽しんでいただけました。最後は、「野菜の数え歌」を千夏ちゃんが披露し、秋空の下、和やかな雰囲気でも出演することができました。この様子も、動画でご覧いただけます。



華洲会第49回競吟大会開催

優勝者のコメント

令和三年十月二十四日、大

東市民会館にて、華洲会第四十九回競吟大会が開催されました。会場使用に大きな制約が伴いながらも、「今こそ詩吟でしつかり声を出そう！」と発奮し敢行しました。行事中止を余儀なくされていた吟界にあつて、この大会開催は大変勇気づけられた内容となりました。

川西北支部 吉見さん

健康のため七十過ぎてから再開した詩吟、川西北支部の仲間と楽しんでいきます。二十代後半に詩吟を始め、三浦華昊先生に詩吟のイロハを習い、若かりし頃の山口先生に鍛えられ、再開後の支部の仲間巡りに合えたことが、今回の成績に結びつき

ました。皆さんに感謝です。

雋詠寺川支部 奥山さん

この度、第四十九回競吟大会で師範以上の部、決勝吟詠準々優勝を賜りまして、身に余る光栄に存じます。日頃ご指導下さる奥山紅雋先生をはじめ、あたたかい助言を下さる華洲会の先生方、応援してくれる家族の支えのおかげだと思っております。まだまだ学ぶ事が多くありますが、今回いただいた賞を励みにこれから精進してまいります。ありがとうございました。

雋詠寺川支部 川田さん



今回、初めて和歌に出させて頂きました。コロナで大会もあまり出吟できる機会がなかった昨年一年間。今年のはちよくちよく出吟する機会も増え、華洲会の開催を聞き参加するに至りました。和歌は二行詩を繰り返すだけですが、かなり腹圧がないと高音や低音が出せません。それに加え、吟とは違う詠み方と声の出し方があります。吟は九本でやってみて、先生には七か八本でやりなさいと言われましたが、どうも出ないんです。自主練習で九本なら出るので、急遽本数変更させて頂きました。本番は練習程出ませんでした。まだまだ緊張で身体が固くなるのは克服出来ませんが、和歌を練習することにより、高音の発声方法のコツがつかめたような気がします。これに傲らず、精進、日々練習して行きたいと思っております。夢は少壮吟士！これだけは変わりません。



令和3年度第49回華洲会競吟大会成績

開催日 令和3年10月24日（日）

場 所 大東市立市民会館（キラリエホール）

段位・種目	優 勝		準 優 勝		準々優勝	
	氏名	所属支部	氏名	所属支部	氏名	所属支部
新 人 の 部	奥山友雅	雋詠京都	野村政市	多田東		
初級の部（一部）	加納恵介	雋詠寺川	奥山英夫	雋詠京都	川井久美子	楠の里
初級の部（二部）	東野 昭	川西豊友	上條栄治	雋詠寺川	畑 耕作	川西豊友
上級の部（一部）	今井紀子	青山	西村恵子	雋詠寺川	杉本侑響子	雋詠寺川
上級の部（二部）	林 多美子	多田東	奥野君子	多田東	福島正巳	多田東
師 範 代 の 部	上野 敦	川西豊友	福田和美	川西大和	東野 明	川西北
準 師 範 の 部	吉見允利	川西北	川田麻衣子	雋詠寺川	向井博子	雋詠寺川
師 範 以 上 の 部	奥山久美子	雋詠京都	山下智之	丸の内中央	吉田 守	鳳吟大江
決 勝 の 部	吉見允利	川西北	川田麻衣子	雋詠寺川	奥山久美子	雋詠京都
和歌（一般）の部	嶋田綾子	雋詠寺川	樋口智裕	川西北	奥野君子	多田東
和歌（指導者）の部	川田麻衣子	雋詠寺川	坂根英生	川西大和	宇野麗子	勢多
奨励賞：幼年で明るく元気に吟詠！			嶋崎千夏	野崎観音	嶋崎雄仁	野崎観音

入 賞 者

段位・種目	氏 名（所属支部）
初級の部（二部）	長尾美保子（丸の内中央）
上級の部（一部）	今井豊治（青山）箱田久美子（川西北）秋月俊也（雋詠寺川） 松下恵子（多田東）
上級の部（二部）	嶋田綾子（雋詠京都）幸 盛正（川西大和）斎藤 勉（川西大和） 中尾綾子（雋詠京都）小谷茂雄（多田東）柏原美佐子（野崎観音）
師 範 代 の 部	若林成和（燐吟）加川秀子（雋詠京都）河田一彦（多田東） 瀬下武士（川西豊友）五十棲俊次（雋詠京都）坂根英生（川西大和） 中根達博（丸の内中央）中村久美子（雋詠京都）桜井啓義（雋詠伊賀）
準 師 範 の 部	岡部幸子（川西北）中野宣子（雋詠京都）
師 範 以 上 の 部	伊々田和子（川西北）坂本敏一（男山さくら）
和歌（指導者）の部	中野宣子（雋詠京都）園部麗子（雋詠寺川）入口みどり（雋詠寺川） 五十棲俊次（雋詠京都）

みんなの教室紹介

丸の内中央支部

竹本瑞鼓

当支部は、故河南創鼓先生が総本部理事東島華壯先生の跡を受けて平成八年に川西市内の中央公民館で、華洲詩吟教室として開設された教場です。現在、

① 華洲詩吟（第二・四土曜日午前開催・川西キセラプラザ文化棟三F川西公民館）

② 漢詩一吟会（第二・四木曜日十八時から・川西能勢口駅前パレット川西）

③ 明峰詩吟分会（第二・四水曜日十三時から・明峰公民館）

④ 明峰こども教室（第三土曜日十四時から・明峰公民館）

⑤ りんどう漢詩（第一・三水曜日午前開催・川西公民館）、の五教場を開設しています。

これらの教室では、吟詠講習は勿論、歴史討論など受講者の多彩なニーズに対応しています。

各教室特徴があり活動メンバーの練

習内容は多彩です。音程が不安定な方、声が出にくい方、音程が低い方など様々で、活動目標を持ちながらまさに子供から大人まで、大きな声を出しストレスを発散しています。

発声は腹式呼吸の体の使い方からの教授から、吟詠符節の組み立理論まで教えています。漢詩の作詩を楽しんでいるメンバーもいますよ。漢字の平仄など基礎から学べます。学習で視野が広がります。練習の成果を確認する支部内の錬成会や、吟界の雰囲気に触れる為関西吟詩の本部行事に参加したり華洲会主催の行事に参加します。

また、地元の川西市詩吟連盟の行事に参加しています。当支部は連盟の中核グループとして活躍中で、年二回の競吟詠大会の主催をリードしています。近年の活動では地元川西市の新規開設のキセラホールオープンには一〇〇〇人を余る観衆で、詩吟の存在感をアピールしました。

その他の楽しみですが、これが大事なかな？カラオケや日帰り旅行なども実施

していますよ。

別途の広報活動と言いますか個人的には「東谷論語を楽しむ会」を主宰しています。支部員もこれの主要メンバーとして活動中。孔子の言葉と活動に触れながら、これを体現した漢詩も学び会員の新規獲得に向けて行動中です。メンバーはワクワクしながら奮闘活動中です。



詩吟に夢を…
これを楽しむ
ものは…

令和4年度運営メンバーの顔ぶれ

令和4年度の華洲会は、ご覧のメンバーで会運営にあたりました。それぞれの持ち場で活動を行うことができました。来年度もご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



華洲会創立55周年を記念し、今井彩黎先生より出吟番号表示板が贈呈されました。華洲会競吟大会をはじめフル活用されています。



令和4年度の定期総会は、令和4年4月29日、大東市民会館にて開催されました。



【事務局】

(左から) 中村尚瑛先生、坂本**亮**琮先生、向井萌雋先生、吉見昊翔先生、箱田瑛優先生
華洲会に関する諸連絡、手続き等、様々に奔走いただき、ありがとうございました。



【会計】 園部奎雋先生
いつも細やかなお仕事、あ
りがとうございます。



【女性部】（左から）

吉田泉豊先生、高橋箏瑛先生、箱田瑛優先生、杉本紅響先生
華洲会の活力の源である女性会員の皆様のとりにまとめを担っ
てくださいました。



【教養指導部】（左から）今井彩黎先生、
嶋崎瑛簫先生、杉本紅響先生
吟力向上研修会の企画、大成功です！



【企画部】（左から）

藤原亮成先生、吉田泉豊先生
会員拡大と吟力向上に向け、ユニークな企画
を推進いただきました。



スマートフォンのカメラで
かざしていただくと、ホー
ムページをご覧頂けます。



【ホームページ委員会】（左から）

坂本亮琮先生、秋月奎翁、高橋箏瑛先生、奥山紅雋先生、今井彩黎先生
クオリティの高いホームページ制作を担ってくださり、ありが
とうございます。



【青年部】（左から）

秋月奎翁、嶋崎瑛簫先生、今井彩黎先生



【広報部】（左から）

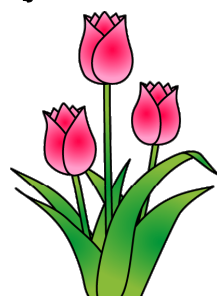
吉田鳳裏先生、竹本瑞鼓先生、秋月奎翁
高橋箏瑛先生、杉本紅響先生

一年間お世話になりました。
令和5年度も華洲会の発展のためよろしく
お願いいたします。

編集後記

まず、『華』の大幅な発行遅延に至った経緯について、お詫びかたがた簡潔に記したいと思えます。コロナ禍中に開催された華洲会競吟大会の日に七十五号を発行して以降、およそ二年近く発行を滞らせてしまったことを深くお詫び申し上げます。今号は、二年分主な行事・各部の活動をダイジェスト版でまとめたため、合併号という形での発行といたしました。何卒、ご了承ください。新年度も迎え、広報部も新たに活動を開始しました。華洲会会員諸氏の日々の活動を伝え、紐帯を強くするための貴重な媒体である『華』の発行継続のために、諸先生諸先輩の皆様のお力添えを賜れば幸甚に存じます。末筆となりましたが、会員皆様の益々の吟活の隆盛を心よりお祈り申し上げます。

（KO記）



華 七十六・七十七合併号

発行日…令和五年七月一〇日

発行人…山口華雋

STAFF…高橋箏瑛・竹本瑞鼓・吉田鳳裏・

岡森鵬雋・上野釣恵・奥山紅雅・

加納恵介・杉本紅響・秋月奎翁

発行者…（公社）関西吟詩文化協会 公認華洲会